

# 培ったITのノウハウを活かし 生涯スポーツの振興を目指す

## Company Data

### 株式会社 プレイヤーズ

神奈川県川崎市川崎区駅前本町 11-2 川崎フロンティアビル 12 階

URL : <https://players-inc.jp>

【社長ブログ：ソフトテニスでメシを食う !!】

URL : <https://softtennis-navi.com/blog/>



代表取締役

荒川 裕二郎

インターネットを活用した生涯スポーツの振興をテーマに、2017年に創業した『プレイヤーズ』。現在は社長自身も競技経験のあるソフトテニスを中心に、さまざまな Web サイトの立ち上げを通じてクラブチームや大会情報などを提供。またネット以外でもリアルな交流の場として講習会や練習会なども開催。競技愛好者同士の情報交換や仲間づくりのきっかけを増やししながらスポーツ人口の拡大を目指している。タレントの布川敏和氏が荒川社長にお話を伺った。

——早速ですが、『プレイヤーズ』さんの業務内容からお聞かせ下さい。

「生涯スポーツの振興」をテーマに、インターネットを活用した競技情報の提供をしています。その中には自社コンテンツを通じた発信もあれば、クライアントのホームページの制作・運営も含まれます。特にアマチュアスポーツの世界ではネットでの情報がまだまだ不足しているため、スポーツをやりたいけどなかなか機会がないという方に、そのきっかけを提供するお手伝いをしています。

——起業に際して、スポーツに着目されたのはどのような背景があったのでしょうか。



「大好きなスポーツを通じて、社会に貢献していきたいという荒川社長の高い志が伝わってくる対談でした！ これから益々のご活躍を期待しています」

インタビュアー：布川 敏和

うか。

起業する前はITベンチャーで長年IT教育に従事していました。とくに得難い経験だったのがインドでの海外事業の立ち上げです。急速に発展するインド経済は、かつての日本の高度成長期のような活気があり、人々は将来への希望に満ちています。一方で高齢化が進む現在の日本は閉塞感が漂い、若者も将来に不安を抱え夢を持っていない傾向があります。そのなかで普遍的にニーズがあるものは何かと考えた時に「健康寿命」というキーワードに着目し、誰もがもっと気軽にスポーツに親しめるような社会になれば素敵だなと。やはり起業となると流行りのビジネスやお金儲けということではなく、自分が一生をかけて取り組む価値のあるものにしたと考えました。

——その中でなぜソフトテニスを？

私自身が学生時代から長年親しんできた大好きな競技というのが一番の理由です。また、実はソフトテニスは中学校では男女通じて運動系部活動で入部数1位の人気スポーツなんです。

——そうなんです！ それは知りませんでした。

それが高校、大学と進むにつれて極端に競技人口が減り、社会人まで続ける人は非常に少なく、大人になるとすっかり



マイナースポーツというイメージがあります。その一方で、ジュニア（小学生）からシニアまで幅広い年齢が同じルールで競える懐の深い競技でもあります。

——荒川社長は現在も現役で？

はい。前職の10年ほどは仕事が忙しくて競技から離れてしまっていたのですが、起業を機に再開しました。最近はローカル大会から全日本の大会まで色々な試合に選手としても出場しています。ソフトテニスではシニア80歳以上のクラスまで全国大会や全日本ランキングがあります。私は今40歳なので、まだまだこれから一花咲かせますよ（笑）。

——いきいきとスポーツを楽しんでいらっしゃる姿が浮かびます。

競技志向の強い人から健康維持までスポーツをやる理由は様々ですが、そうやってスポーツを楽しむ大人をもっと増やしたいですし、自分自身もそうありたいと願っています。

——では、最後に今後の抱負を。

まだまだ小さな活動ですが、創業1期目はなんとか黒字で終わることができました。どんなにビジョンや志があっても、永続的に活動していくためにはビジネスとしてちゃんと軌道に乗せていく必要があります。3年以内にはしっかりとした事業基盤を築いて、障害者スポーツなども含めてもっと様々な競技に対象を広げていければと考えています。

(2018年6月取材)